

高梁川流域地域づくり連携推進事業 成果の合意書

事業名 : 地域からの発信, 高校生と生物多様性をつなぐプロジェクト

グループ名 : チーム小さな生き物たち

高梁川流域地域づくり連携推進事業は、高梁川流域市町に地域課題を解決するノウハウの拡がりを生み出すことを目的として実施するものである。

本事業の実施にあたり、倉敷市（以下「甲」という。）とチーム小さな生き物たち（以下「乙」という。）は、目指す成果とそれを測る指標を以下の内容で合意する。また、乙は以下の実現を目指して事業を実施し、甲はその進捗状況を確認し、必要に応じて助言又は指導を行う。

1 ノウハウの拡がり（グループ参加団体間でのノウハウの拡がりに、どのような成果があるか）

(1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	地域活動への自主的な参加を促すための環境や仲間づくりのノウハウを蓄積し、新たなターゲット層となる若者たちへ発信する。あわせて人と自然の関係性や生物多様性に興味・関心を持つ人が増え、地域活動を担う次世代の育成につながる。
----	---

(2) 短期アウトカム（令和2年度事業の成果）

目標	本事業では2つの団体がノウハウを持ち寄り、双方向で学び合うことでノウハウを拡げ、新しい価値を生み出す。 みずしま財団が日妻クリーンクラブのノウハウを学び、自然とのつき合い方、管理の仕方、気持ちや姿勢を可視化・文章化することで、「高梁川流域における生物多様性をはじめ、持続可能な地域づくり」の具体例やその価値を市民や行政に伝える。 日妻クリーンクラブがみずしま財団の持つノウハウとして若い世代を対象とした伝え方や活動を学び、自分たちの活動の持つ意義や価値を再発見し、発信する。
指標	- 取材し可視化した「人と自然をつなぐ」方法とその価値について文章化し、300人の市民に伝える。 7市3町の教育委員会ならびに、地域づくり・市民協働担当課に上記文章を送付する。(送付予定先20か所)

(3) アウトプット（令和2年度事業の直接の結果）

目標	動画やインタビュー記事・パンフレットについて、日妻クリーンクラブと水島地域環境再生財団が協力して、構想立案から動画製作までの作業を行う。
指標	動画製作の参加者：現状 0人→事業実施後 10人